

令和2年度小樽地区の研究活動

研修部長 小樽市立塩谷小学校
校長 堀 智 行

1. はじめに

小樽市小学校長会は、市内17校の校長をもって構成されている。本会の研究活動は、これまで、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成、学校の自主性・自立性の確立、教職員の意識改革等の課題を解決し、本市の小学校教育の改善・充実をめざし、校長会としての一体感を大切にしながら、組織的な実践を積み上げてきた。

また、本市においては、小樽市教育委員会のリーダーシップのもと、市民の信頼に応える学校づくりを目指した小樽市教育推進計画が示されており、各校においては、市民の負託と家庭や地域の期待に応える小学校教育を推進するため、「推進計画」に基づく学校経営の充実に向けた改善に取り組んでいる。

今年度は、第63回北海道小学校長会教育研究オホーツク・北見大会（誌上交流）において、3年次研究1年目の本会の取組を提言し、本市はもとより北海道教育の益々の発展・充実に資するべく研究・研修活動に取り組んでいる。



◇9月17日 校長会主催職能向上研修会◇

2. 研究計画

(1) 研究課題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～心豊かに学び ふるさとに夢と誇りをもち たくましく生きる小樽の子どもの育成～

(2) 研究組織

小樽市の小学校が統合により減少し現在は17校となり、現在は専門部を組織部、研修部、厚生部の3つに再編制し、活動を推進している。

3 研究活動（各専門部の活動）

(1) 組織部

法令に基づき、愛情と信頼を基盤とした学校経営の確立を目指して、今日的な課題を踏まえ、校長としての職務の遂行や指導性を一層発揮し、関係法令の研究と調査活動を進め、本市小学校の学校経営の充実を図る。

- ① 小樽地区教育経営研修会に関する業務
- ② 関係法規の整備、「校長必携」の編集業務
- ③ 小樽市小学校生活指導委員会に関する業務
- ④ 小樽市学校生活指導連絡協議会に関する業務
- ⑤ 小樽市PTA連合会、北海道PTA連合会の事業に関する業務
- ⑥ 通学路除排雪に関する資料作成、要望に関する業務
- ⑦ 資料や情報提供に関する業務 など

(2) 厚生部

学校給食関係諸機関との連携調整の窓口となるとともに、学校保健関係諸機関との連携に努め、学校保健の向上に寄与する。また、校長会の福利厚生と親睦に関する業務を推進する。

- ① 会員相互の親睦に関する業務の推進
- ② 学校給食関係諸機関との連携及び学校給食の向上への寄与
- ③ 学校保健・安全関係諸機関との連携及び学校保健の向上への寄与
- ④ 福利厚生及び関係機関との連携に関する業務
- ⑤ 業務内容に係る調査及び研究に関する業務
 - ・ 小樽市学校給食運営協議会
 - ・ 小樽市学校給食共同調理場運営委員会
 - ・ 小樽市学校給食衛生委員会
 - ・ 小樽市学校保健会
 - ・ 小樽市定期健康診断会議
 - ・ 小樽市教職員体育大会推進委員会
 - ・ メンタルヘルスセミナー事業推進会議 など

(3) 研修部

全連小・道小の研究課題との関連において、研究テーマを設定し、本市の実態と学校教育上の課題を踏まえ、校長の果たすべき役割と校長としてのリーダーシップの発揮はどうあるべきかについて研究を進める。

＜研究テーマ＞

「学校経営ビジョンの実現を図るための組織づくりにおける校長の役割と指導性」

＜研究課題＞

- ◇ 学校経営ビジョンの実現に向けた運営組織の構築と組織的な取組の推進
- ◇ 活力ある運営を実現するための組織活性化に向けた取組の推進

＜研究計画＞

1年次 全市アンケートによる実態把握、研修会の実施、実践交流（本年度）

2年次 実態を踏まえた実践・改善・充実

3年次 まとめ、発展

4 まとめ

本年度は、第63回北海道小学校長会教育研究オホーツク・北見大会（誌上交流）において、道小の研究主題と関連した「組織・運営」に関する小樽市小学校長会の研究（3年次計画）の1年次目の取組を推進し、学校経営ビジョンの実現を図るためのグランドデザインの焦点化や校務規定に基づく組織づくりや組織運営等、その研究成果を全道に発信できたことを成果としてあげたい。

また、「組織運営の強化」を重点目標として掲げ、小樽市小学校長会が組織一丸となって学校経営の充実に向けた組織改善の取組に着手できた意義は大きい。

現在、新型コロナウイルス感染症と共存する時代を生き抜くために、「学校の新しい生活様式」の下、社会に開かれた教育課程を編成し、その実現に向けた明確な学校経営ビジョンの策定と、それらを保護者や地域と共有しながら共に子どもたちを育む実効性ある体制を構築し、機能的な組織運営を推進する校長のリーダーシップが求められている。

小学校高学年教科担任制・働き方改革に向けた組織の再編や活力ある運営を実現するための方策、初任段階、中堅段階、ベテラン段階などのキャリアステージに応じた組織的な人材育成等、校長が果たすべき役割と指導性についての新たな課題は山積しているが、小樽市小学校長会は、今後とも本市の学校教育に関わる課題に組織として正対し、課題解決に向けて学校改善に資する研究活動をオール小樽で推進していきたい。